

会員数(51.7.1)

蓮子地区 108名
 葉山地区 220名
 大船地区 75名
 合計 403名

吟道月報

(社)日本詩吟学院 芸風会許可 神奈川

碩心会発行

51.7.5

(第48号)

編集 加藤洲風

第三回碩心会吟道温習会開催される

六月十三日(日)オ三回温習会を 蓮子市

五位 上山口支部

図書館ホールにて開催、碩心会にふさわしい堂々たる温習会であった。

途中、会長榎岸見岳先生より許証が関係者に授与されたあと、十年に亘り碩心会の会長

として会の発展のため尽力された功績をたたえ、三井要岳先生に対し、会長より感謝状並びに記念品の贈呈が行なわれた。

引き続き恒例により合吟コンクールが行なわれ、次の優勝と五位までが決定し、優勝カップと賞状、賞品が授与された。

優勝 堀内支部B(女子)

二位 蓮子支部B

三位 堀内支部B(男子)

四位 桜山支部

尚、師範の各先生方の独吟は時間の関係で、合吟に変更されたため、名吟を拜聴できなかつたのは誠に残念であった。

碩心会二十周年記念

吟道大会開催に係る

オ一回準備委員会開催される

去る六月二十六日 なぎさ会館において

オ一回碩心会二十周年記念吟道大会準備委員会を開催、日程、予算大綱を協議した。

日程 五十二至六月のオ一日曜日

但し、都合により五月最終の日曜日

となる場合もあること

碩心会二十周年記念準備委員(24名)

常任理事以上

十四名 友公

大船地区

佐々木彰山 山本栄風

逗子地区

鈴木利山 村田清山 玄瀬清山

葉山地区

鈴木孝風 秋元梁山 杉山雪山

根岸治山 沼田美山

以上三十四名とする

碩心会 五十一年秋季昇位

資格審査会の開催について

日時 八月八日(日) 午後一時より

場所 逗子なぎさ公会館

担当師範は、出席率、名簿の洩れ、氏名の誤り等を記録調査し、別途許証部長より配布の名簿を持参の上御参集願います。

伝号の不動文字について

許証部長 中村 幸風

毎週飯場における「けいこ」を積重ね、規定の出席率をみたした上、吟夜に一步前進を認められると、資格が与えられて、審査会の審査に合格すると、上位の許証が認許されることは、皆杯ご存知のことですが、初伝を「泉」、中伝に「山」、奥伝に「風」、皆伝に「〇岳」(下位岳)、総伝に「岳」(上位岳)という不動文字の配列について、ご案内申し上げます。

これは木村岳風先生が撰ばれたものですが、單に好きな文字を配列したのでなく、大自然の生きた姿、生茂繁展の生命の修煉の課程をとり入れて、無言の中に心構えの感化を秘めたところ、まさに人智を絶するものがあります。

その自然現象については、理事長の渡辺岳神先生が次の様に、岳風伝の巻頭において説明されておりますので

ここに敷載して、説明に代えます。

先づ初佐を地下水が「泉」となつて湧き出るところに、これを見立て、生命の現象の源泉から修道の歩を進める。一歩一歩高さを求め、且つ登つて次々に下界とはなれたところを中佐にみたて「山」にいたる。

山も登るにつれて眼界はいよいよ開け、一眺千里、山風おこり、鞋衣より要を脱ぐ。まさにこのときの「風」に浴するとき、天地の境の感を覚ゆる。これを奥佐の境地に見立てる。吟道の修行も全くこれと同じである。さらに歩を進むにつれて、いよいよ高くけわしく難路多く、岩石山となつて、草木また稀となる。山岳の性質を精びる處、来る者また誠に勤い、下位佐等、すなわち皆佐と見てここに允許する。これらの経験を通り過ぎて、さらに精進と努力をつづけ、常に後進の範とされる者と上位佐として、これを総佐と見たてて、栄達せしむ。

この頂 漸やく山も嶺に近く、白雲去来し、万年雪

を戴く。その崇高なること、ものにたとえようもない。吟道における地歩もまた之を意味し、それを理想として

会員の異動

新会員

| | | |
|---------|-------|----------------------------------|
| 大船支部(A) | 池田 夕日 | 横浜市戸塚区小菅谷町二五三 電〇四五(八九三) 五九三一 |
| " | 長島てるみ | 横浜市戸塚区小菅谷町二四〇四 電〇四五(八九二) 一六〇二 |
| " | 池田 忠夫 | 横浜市戸塚区小菅谷町二五三 電〇四五(八九一) 〇三六四 |
| " | 岩田 和夫 | 横浜市戸塚区小菅谷町二五九六 電〇四五(八九一) 四八五五 |
| 松和支部 | 大川 千三 | 横浜市高倉六三二一四 電〇四六六(八四) 四〇五八 |
| 諏訪支部 | 井沢 幸子 | 葉山町堀内二五五 電〇四六八(八八) 〇四九六 |

退会月員

| | | |
|-----|---------|-------|
| 249 | 窪子支部(A) | 石井旭泉 |
| 308 | 〃 | 椎野憲与治 |
| 53 | 堀内支部 | 鈴木静山 |
| 63 | 堀内支部 | 岡本慶山 |
| 314 | 〃 | 久保治義 |
| 379 | 〃 | 遠藤とし |

▲ 本格的な夏を迎え、気温も連日30度そこす
今日このごろです。会員の皆様には、いかがお
過ごしですか。暑さのため、どうも本調子がで
ない、という方もいらっしゃるのではないでし
ょうか。暑い季節、兵々も身体ご自愛の程
念じております。

▲ 毎号お願いいたしております原稿募集、何
なりと、ご投稿下さいますようお願いいた
します

編輯 佳木 春